

# とちぶん会報

No.72

2023年7月1日

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男  
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町 16-18 三上芳

## 役員会及び令和5年度定期総会を開催

役員会が4月15日(土)午後1時30分から宇都宮市中央生涯学習センターにおいて開催され、8名の理事・会計が出席しました。令和5年度総会審議案件その他が審議され、出席者に了承されました。

令和5年度栃木県文芸家協会総会が、5月21日(日)午後1時30分から栃木県教育会館において開催されました。福田会長が議事進行を務め、会員18名が出席いたしました。

冒頭、福田会長から、数年来、役員会・総会において不規則発言を繰り返して議事の進行を妨げている理事・会員1名について、会則第7条の規定に基づいて退会を求める緊急動議が提出されました。当該理事・会員の弁明を聴いたうえで審議・採決がなされ、賛成11人、反対0人の結果により可決・退会としました。

予定された審議事項の①令和4年度栃木県文芸家協会事業報告、②令和4年度栃木県文芸家協会収支決算報告、③令和5年度栃木県文芸家協会事業計画、④令和5年度栃木県文芸家協会収支予算、⑤その他(夏季講演会、秋季懇親旅行等)については、事務局からの説明があり、審議のうえすべて原案のとおり承認されました。

## 夏季講演会及び暑気払い・懇親会を開催します

今年度の夏季講演会及び暑気払い・懇親会は、8月20日(日)に開催することとなりました。会員の積極的な参加をお願いいたします。

- 日 時 令和5年8月20日(日) 午後1時30分～3時
- 会 場 栃木県青年会館(コンセーレ) [宇都宮市駒生1-1-6/Tel. 028(624)1417]  
／JR宇都宮駅方面から関東バス「作新学院駒生」行きに乗車し「東中丸(コンセーレ前)バス停」下車  
\* 駐車場有り
- 講 師 大田原市黒羽芭蕉の館学芸員 新井 敦史先生
- 演 題 松尾芭蕉の生涯―誕生から「軽み」の俳諧まで―
  - \* 講師略歴／平成2年3月 筑波大学第一学群人文学類卒業、平成7年3月 同大学大学院博士課程 歴史・人類学研究科単位取得退学、平成7年4月黒羽町芭蕉の館(現 大田原市黒羽芭蕉の館)学芸員(現在に至る)、平成23年4月 大田原市文化財保護審議会委員(現在に至る)、平成26年7月 栃木県文化財保護審議会委員(現在は会長)
  - \* 所属団体／地方史研究協議会(委員)、日本古文書学会、歴史人類学会、戦国史研究会、織豊期研究会、筑波大学日本史談話会、栃木県歴史文化研究会(常任委員)など
  - \* 著書／「下野国黒羽藩主大関氏と史料保存」(随想舎・2007年)、「武士と大名の古文書学入門」(吉川弘文館・2009年)など
  - \* 受賞／平成29年1月 第22回NHK関東甲信越地域放送文化賞受賞、令和5年3月 第4回大関作新館賞受賞
- 懇親会 講演会終了後、午後3時10分から同所にて暑気払いを兼ねた懇親会を開催します。
  - \* 会費5,000円(当日支払い)。無断キャンセルした場合は実費を請求します。

※ 同封した出欠の返信ハガキを8月14日(月)までに事務局あて必ず郵送してください。

## 10月23日～24日に秋の懇親旅行(南平台温泉ホテル)

今年度の事業計画にあるとおり、秋の懇親旅行を実施します。令和元年10月以来4年ぶりとなりますので、会員の皆さん、奮ってご参加ください。

日程は10月23日(月)～24日(火)の1泊2日、宿泊先は馬頭温泉郷の南平台温泉ホテルです。費用は税込みで12,000円になります。

申込み方法などの詳しい内容は、次号(10月10日発行予定)で案内いたします。

## 第1回編集会議を開催・『朝明』第12号発刊へ

6月26日(月)午後3時から、おかりやにおいて朝明第12号発行に係る第1回編集会議を開催しました。6名の委員が出席しました。

特集テーマについては、各委員からいろいろな意見が提示され、これらについて活発な議論が行われました。最終的には「再スタート」がテーマとして決まりました。表紙については、絵画作品の写真を載せることとなりました。資料に基づいて第12号の原稿提出要領が審議され、内容は前回とほぼ同じものとなりました。また、前号と同様に第12号も冊子体を電子化(PDF)して、第13号の発行後(令和6年12月)、協会公式ホームページに全文アップロードすることが改めて確認されました。

作品の提出期限は9月末日です。別添要領に基づいて作成・提出してください。

## 『創作への志』 会員通信 No.26 随筆部門 藤田 香月

近年、長く親交をいただいた方々が、次々と旅立っていかれた。追悼文を書きたいと思いつつもできなかった。私は文章を書くことが苦手であり、しかも独りよがりになりがちである。

だが、誠意あるみこで接して下さり、今は星となられた忘れえぬ人たちのことを、もうしばらく書き留めてゆきたいと思っている。使命とも似たものを感じながら。

### § 寄贈書籍の紹介 §

- 「那須の緒 第19号」／発行所・貝塚津音魚／発行日・2023年5月16日[発行所からの寄贈]
- 「詩集 白い椅子」こやま きお著／発行書・玲風書房／発行日2023年4月19日[著者からの寄贈]  
・「I章 祈る」「II章 愁える」「III章 願う」の3部で構成され、所属する「那須の緒」等に寄せた31編の作品が掲載されている。133ページ[著者からの寄贈]
- 「ヘルマン・ヘッセの二極性—愛と自由への求道者—」名村 忠著／発行所・株式会社文芸社／発行日・2016年2月15日[著者からの寄贈]  
・「第一部 夢・無垢・覚醒・絶望」「第二部 我意・戦争と精神の嵐」「第三部 より広く・より遠く・より柔らかく」「第四部 信仰・希望」によって構成されている。254ページ
- 「ヘルマン・ヘッセの二極性2—統一と夢・希望への巡礼者」名村 忠著／発行所・しもつけの心出版／発行日・2021年2月22日[著者からの寄贈]  
・「第一部 自己嫌悪・絶望死—自然へ」「第二部 巻き返し・犠牲死—愛(母)へ」「第三部 信仰死—神(父)へ」によって構成されている。236ページ

### \* ∞ \* 事務局通信 \* ∞ \*

本年度の事業計画にある秋の懇親旅行が企画されました。令和元年以来4年ぶりの開催となります。ご都合のつく方は是非参加してください。次号(10月10日発行予定)にて詳しく案内し、申込み受付も開始します。夏季講演会後の暑気払いを含めて、懇親のための企画が続々と復活します。大いに楽しんでください。

私の事務局長・朝明編集委員長の任期は、今年度末までとなります。6年間務めることとなり、これ以上の再任・延長は望んでおりません。今後、次年度までに後継者候補を選ばなければなりません。今からでも適任と思われる方の推薦があればと願っています。会員からの意見を待っています。(三上)